

回 答 書

工事名：本郷中学校長寿命化改修工事（建築主体工事）

	質 問 事 項	回 答
1	(図面番号A-07) 9. 環境配慮改修工事 ①石綿含有建材の除去工事で※石綿含有建材の事前調査が適用となっておりますが目視及び貸与する資料で調査報告すると記載されていますが、これは書面・目視調査を実施し、アスベスト含有資材が疑われる場合に監督員と協議し分析調査を実施すると判断すれば宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2	(図面番号A-04, KD-01～KD-03) 劣化調査は目視・打音・計測による書面報告とし、数量が増減した場合は増減対象になると判断すれば宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	(図面番号KD-04, KD-05～KD-19 参考調書P13, P14) 屋上の改修ドレンφ150撤去・新設と記載されていますが、新設縦樋がφ100の場合、ジャバラ外径φ140は挿入できないと思われませんが、どのように判断すれば宜しいでしょうか。	改修用ドレンφ100を見込んでください。
4	(図面番号KD-06～KD-09) KD-06～KD-09で脱気装置は24か所と表記されていますが、参考調書P13では13か所を計上されております。参考調書P13を正と判断すれば宜しいでしょうか。	KD-06～KD-09 図を正とし、脱気装置は24か所を見込んでください。

5	<p>(図面番号KD-10～KD-19)</p> <p>KD-10～KD-19で根回り，化粧目地，打継目地等のシーリング処理についての指示がされてなく，参考調書でも計上されていませんので，現状のままと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
6	<p>(図面番号KD-10)</p> <p>北側(西面)の渡り廊下外壁において劣化改修A-1打放し面・A-2珪藻土面に該当しないALC板面について改修指示が記載されていません。施工範囲に入る場合，外壁ALC板面は躯体が柔らかいためA-1，A-2工法は難しいと思われます。どのように判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>外壁 ALC 板面の改修方法については次のとおりとしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 脆弱部分のみを超音波ケレン ② 水洗い ③ 下地調整材コテ塗り（1～2mm程度）
7	<p>(図面番号KD-06，KD-11 参考調書P13)</p> <p>参考調書P13でアルミ笠木W=200 L=10.2mを計上されていますが，KD-6では北側，ポーチ底部分が㊸符号で表記されL=6.2m部分しか該当しません。適用箇所をご指示ください。</p>	<p>アルミ笠木 W=200 L=10.2m は KD-09 図 EV 棟屋上の笠木部分を見込んでいます。</p> <p>KD-06 図ポーチ底部分㊸部は端部防水押え金物として見込んでいます。</p>
8	<p>(図面番号KD-09，KD-24)</p> <p>屋上点検口(2か所)が，KD-24では鋼製720×720撤去のうえ，新設，SUS製500×500新設となっておりますが，参考調書でも点検口本体+珪藻土詰め+シーリング等が計上されておられません。どのように判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>点検口本体+珪藻土詰め+シーリング等，屋上点検口の設置に必要な項目を見込んでください。</p>
9	<p>(図面番号KD-05～KD-19)</p> <p>縦樋養生管についての指示がされてなく，参考調書でも計上されていませんので，現状のまま再使用と判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>下地調整（RB種）のうえ DP 塗装（1級）を見込んでください。</p>
10	<p>(図面番号KD-05～KD-19)</p> <p>KD-05～KD-19で軒裏換気口の処理についての指示がされてなく，参考調書でも計上されていませんので，現状のままと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>下地調整（RB種）のうえ DP 塗装（1級）を見込んでください。</p>

11	<p>(図面番号KD-01) 劣化改修A-1打放し面・A-2モルタル面で①既存仕上げ材及び脆弱層サングレイン(全面)と記載されていますが、外壁吹付け面の脆弱部分をサングレインで吹付け材面を取り除き、下地調整材を残すと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>劣化改修 A-1 打放し面・A-2 モルタル面については、KD-01 図のとおり、① 既存仕上げ材及び脆弱層サングレイン(全面) 4,179 m²+103 m²を見込んでください。下地調整材は撤去してください。</p>
12	<p>(図面番号OD-01) 劣化改修A-1打放し面・A-2モルタル面で①既存仕上げ材及び脆弱層サングレイン(全面)と記載されていますが、外壁吹付け面の脆弱部分をサングレインで吹付け材面を取り除き、下地調整材を残すと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>劣化改修 A-1 打放し面・A-2 モルタル面については、OD-01 図のとおり、① 既存仕上げ材及び脆弱層サングレイン(全面) 342 m²+11.7 m²を見込んでください。下地調整材は撤去してください。</p>
13	<p>(図面番号OD-06, OD-25 参考調書P27) 参考調書P27でSD-1 W2000×H2030 建付調整 3か所を計上されていますが、OD-25 建具表では表記がなく、建具周囲シーリングとなっております。参考調書P27を正と判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
14	<p>(図面番号OD-06, OD-25) SD-1について建具の塗替え指示がなく、参考調書でも計上されていませんので建具周囲打替えシーリング及び建付調整のみと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>下地調整 (RB 種) のうえ DP 塗装 (1 級) を見込んでください。</p>
15	<p>(図面番号OD-05, OD-06 参考調書P31) OD-05, 内部仕上表で体育室の木製巾木(H=100) SOP塗りと表記され、OD-06及び参考数量P31ではOS塗りで計上されており相違します。どのように判断すれば宜しいでしょうか。</p>	<p>OD-06 図を正とし、OS 塗を見込んでください。</p>

16	<p>(図面番号OD-05, OD-18~OD-21 参考調書P31)</p> <p>OD-05, 内部仕上表では既存のまま, OD-18~OD-21及び参考調書P31で体育室の壁 有孔ペニヤ(t=9), 目透かしと表記されています。OD-18~OD-21及び参考調書P31が正とした場合, 壁有孔ペニヤの裏張り(寒冷紗)及び仕上塗装は不要と判断すれば宜しいでしょうか。</p>	裏張り(寒冷紗)及びSOP塗装を見込んでください。
17	<p>(図面番号OD-05 参考調書P31)</p> <p>内部仕上表(備考)で体育室の床下点検口1箇所[新設]と表記されていますが, 参考調書P31では床下点検口4箇所を計上されており相違します。どのように判断すれば宜しいでしょうか。</p>	参考数量書のとおり, 4箇所を見込んでください。
18	<p>(図面番号OD-05, OD-22~OD-24 参考調書P31)</p> <p>内部仕上表及びOD-22~OD-24で体育室(便所)壁化粧ケイカル板t=6.0の目地処理について記載がなく, 参考調書P31でも計上されていません。目地処理はペーパールック突付けと判断すれば宜しいでしょうか。</p>	シール処理を見込んでください。
19	<p>(図面番号A-06 参考調書P34)</p> <p>A-06で既存埋込天井インサートの使用区分がされてなく, 参考調書P34でも計上されてません。既存再使用と判断すれば宜しいでしょうか。</p>	お見込みのとおりです。
20	<p>(図面番号A-06, OD-05, OD-17 参考調書P34)</p> <p>A-06, OD-05で男子・女子便所床仕上げで床ビニルシートt=2.0と表記されますが, 参考調書P34では床ビニルシートt=2.5で計上されており相違します。どのように判断すれば宜しいでしょうか。</p>	A-06, OD-05図を正とし, t=2.0mmを見込んでください。
21	<p>(図面番号OD-05, OD-23 参考調書P34)</p> <p>OD-05, OD-23で男子・女子便所幅木, 床ビニルシートt=2.0(H=100)立上げと表記されますが, 参考調書P34では計上されておりません。どのように判断すれば宜しいでしょうか。</p>	OD-05, OD-23図を正とし, 立上り(H=100mm)を見込んでください。

22	(図面番号OD-05, OD-23) OD-05, OD-23で男子・女子便所幅木, 床ビニールシートt=2.0(H=100) 立上げの端末処理の詳細が不明です。見切材無しのシート切断接着のまま判断すれば宜しいでしょうか。	見切り材を見込んでください。
23	(図面番号A-06, OD-17 参考調書P34) 男子便所床仕上げで一部男子便所に汚垂石(材質・大きさ・厚み等不明)が表記されますが, 参考調書P34では床ビニールシートt=2.5で計上されております。どのように判断すれば宜しいでしょうか。	汚垂石 t=6 を見込んでください。
24	(図面番号OD-17 参考調書P34) 男子便所, 女子便所でライニング面台(メラミンボストフォーム)W240 L=1170, W150 L=9430が表記されますが, 参考調書P34では計上されていません。どのように判断すれば宜しいでしょうか。	OD-17 図を正とし, ライニング面台(メラミンボストフォーム)W240 L=1170 mm, W150 L=9430 mmを見込んでください。
25	(図面番号A-08, OD-24 参考調書P34) A-08で天井点検口450角額縁タイプとなっておりますが, 参考調書P34では目地タイプで計上されております。どのように判断すれば宜しいでしょうか。	A-08 図を正とし, 額縁タイプを見込んでください。
26	(図面番号OD-23 参考調書P34) 男子便所, 女子便所で既存建具ドア(4か所)の木製額縁+SOP塗りが新設となっておりますが, 参考調書P34では計上されていません。どのように判断すれば宜しいでしょうか。	OD-23 図を正とし, 木製額縁+SOP塗りを見込んでください。
27	(図面番号OD-06, OD-17, OD-25 参考調書P28, P29) 参考調書P28で男子便所, 女子便所のAD-1既存アルミ建具(障子のみ)撤去 2か所となっておりますが, 参考調書P29ではAD-2 W800×H2465 2か所で計上されておりガラスFL3.0+シーリング等も未計上かつ, OD-25 建具表では建具周囲シーリング打替えとなっております。どのように判断すれば宜しいでしょうか。	参考調書の AD-1 は AD-2 の誤りです。 改修内容は別図のとおりとしてください。

28	(図面番号OD-06, OD-25 参考調書P35) OD-06, OD-25でSD-1 3か所 建具周囲シーリング打替えと表記されていますが, 参考調書P35ではDP塗りで計上されています。どのように判断すれば宜しいでしょうか。	シーリング打替え及びDP塗りを見込んでください。
29	(図面番号OD-9, OD-12 参考調書P35) 参考調書P35でDP塗りを500m ² を計上されていますが, 適用箇所は外壁仕上②, 笠木③, ガリ部④, 玄関底:ルーフデッキ ⑤に該当すると判断すれば宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
30	(図面番号OD-10, OD-11, OD-16) 東面立面図で⑩底方杖の仕上区分が不明です。どのように判断すれば宜しいでしょうか。	⑩下地調整のうえDP塗新設(鉄部)を見込んでください。
31	(図面番号OD-9~OD-12) OD-9~OD-12で根回り, 化粧目地, 打継目地等のシーリング処理についての指示がされてなく, 参考調書でも計上されていませんので, 現状のまま判断すれば宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
32	(図面番号OD-06, 参考調書P31) 参考調書P31でバレー床金具 6か所を計上されていますが, 床下H=450部分の詳細図が添付されてなく, 基礎の大きさ等が不明です。現状埋込支柱は再使用で上部蓋のみを新設すると判断すれば宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
33	(図面番号OD-06, OD-13~OD-16 参考調書P31) 体育室の床は内部仕上表では耐水合板t=12+複合フローリング t=15だけ計上されていますが, 床下支持脚・根太及びEXPゴム18×20等は再使用と判断すれば宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

34	(図面番号A-03, A-11) 仮囲いの存置期間ですが、パネルゲートが存置6か月とあるのですが、全体工期9か月のうち仮囲いはパネルゲートと同じ期間設置と判断して宜しいでしょうか。	仮囲い及びパネルゲートの存置期間は8か月間を見込んでください。
35	(図面番号A-03, A-11) A型バリケードの存置期間も仮囲いと同様に存置6か月と判断して宜しいでしょうか。	A型バリケードの存置期間は8か月間を見込んでください。
36	(図面番号A-03, A-11) 仮設道路の仕様ですが、簡易舗装アスファルトの厚みが不明です。ご指示頂けますか。	砕石敷(厚10cm)の設置及び撤去を見込んでください。簡易舗装アスファルトは不要です。
37	(図面番号TD-01) 劣化改修A-1打放し面・A-2モルタル面で①既存仕上げ材及び脆弱層サングレイン(全面)と記載されていますが、外壁吹付け面の脆弱部分をサングレインで吹付け材面を取り除き、下地調整材を残すと判断すれば宜しいでしょうか。	劣化改修A-1打放し面・A-2モルタル面については、TD-01図のとおり、①既存仕上げ材及び脆弱層サングレイン(全面)569㎡+50.2㎡を見込んでください。下地調整材は撤去してください。
38	(図面番号TD-07) 渡り廊下 屋根⑥・笠木⑦DP塗りと表記されていますが、参考調書では計上されておりません。どのように判断すれば宜しいでしょうか。	TD-07図を正とし、渡り廊下 屋根⑥・笠木⑦DP塗りを見込んでください。
39	(図面番号TD-07) 渡り廊下部分の詳細図面がなく、軒裏の仕上げの指示が不明です。参考調書にも計上されていないので現状のまま判断すれば宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
40	(図面番号TD-04) 渡り廊下、壁ALC面⑦ 劣化改修A-1と表記されていますが、A-1工法はコンクリート打放し面に適用される処理方法ですが、どのように	外壁 ALC 板面の改修方法については次のとおりとしてください。 1 脆弱部分のみを超音波ケレン 2 水洗い

	判断すれば宜しいでしょうか。	3 下地調整材コテ塗り（1～2mm程度）
41	（図面番号TD-08～TD-11） TD-08～TD-11で根回り，化粧目地，打継目地等のシーリング処理についての指示がされてなく，参考調書でも計上されていませんので，現状のままと判断すれば宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
42	（図面番号TD-08～TD-11） TD-08～TD-9で縦樋養生管についての指示がされてなく，参考調書でも計上されていませんので，現状のまま再使用と判断すれば宜しいでしょうか。	下地調整（RB種）のうえDP塗装（1級）を見込んでください。
43	（図面番号TD-07，TD-13） TD-07で屋上点検口についての指示がされてなく，参考調書でも計上されていませんが，TD-13ではSUS製600×600後付けと記載されています。どのように判断すれば宜しいでしょうか。	TD-13図を正とし，撤去新設を計上してください。

符号・名称	AG 2	アルミ引違い窓	[周囲シーリング打替え]	TB 1	トイレブース	[撤去]	TB 2	トイレブース	[新設]	TB 2	トイレブース	[新設]	TB 3	トイレブース	[新設]
位置・数量	1階：器具庫、倉庫	5		1階：男子便所	1	1階：女子便所	1	1階：男子便所	1	1階：男子便所	1	1階：男子便所	1	1階：女子便所	1
姿図															
▽FL															
扉仕上・扉厚	-	-		メラミン化粧合板フラッシュ	40	メラミン化粧合板フラッシュ	40	高圧メラミン化粧板	40	高圧メラミン化粧板	40	高圧メラミン化粧板	40	高圧メラミン化粧板	40
枠仕上・枠見込	アルミ製	70													
音摺・水切	-	-													
硝子	-	-													
金物	-			標準金物一式、笠木：ステンレス		標準金物一式、笠木：ステンレス		標準金物一式、笠木・エッジ：アルミ押出形材、巾木：ステンレスSUS304		標準金物一式、笠木・エッジ：アルミ押出形材、巾木：ステンレスSUS304		標準金物一式、笠木・エッジ：アルミ押出形材、巾木：ステンレスSUS304		標準金物一式、笠木・エッジ：アルミ押出形材、巾木：ステンレスSUS304	
備考	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)							三和シャッター工業TA40同等		三和シャッター工業TA40同等		三和シャッター工業TA40同等		三和シャッター工業TA40同等	
符号・名称	TB 4	トイレブース	[新設]	AD 2	アルミ製片開き戸	[撤去]	AD 2	アルミ製FIX窓	[新設]						
位置・数量	1階：女子便所	1		1階：便所 (改修前)	2	1階：便所 (改修後)	2								
姿図															
▽FL															
扉仕上・扉厚	高圧メラミン化粧板	40		扉：アルミパネル t=3	-	扉：アルミパネル t=3	-								
枠仕上・枠見込	-	-		アルミ製	70	アルミ製	70								
音摺・水切	-	-													
硝子	-	-		FL3		F4									
金物	標準金物一式、笠木・エッジ：アルミ押出形材、巾木：ステンレスSUS304			シリンドー錠(両面) 丁番 覆玉 ドアチェック		標準金物一式									
備考	三和シャッター工業TA40同等														
符号・名称															
位置・数量															
姿図															
▽FL															
扉仕上・扉厚															
枠仕上・枠見込															
音摺・水切															
硝子															
金物															
備考															